

DV問題を考える講演・報告・ディスカッション



もう一度、自分らしく歩き出すために

～有効支援につなぐ官民連携を考える～

DV被害を経験した女性が、その傷を癒し、新たな生活をはじめるとは簡単ではありません。傷ついた心と体のケア、安全な避難場所の確保、自立に向けた職業訓練、子どもの就学など、抱える課題を解決し、自立へとつなげるためには、官民の垣根を越えた連携支援が必要です。この事業では被害を受けた女性（と子）が、もう一度、自らの人生を歩むために必要となる官民の垣根を越えた連携支援のあり方について、みなさんとともに考えます。

【講演】もう一度、自分らしく歩き出すために

～有効支援につなぐ官民連携を考える～

講師 瀧田信之さん（NPO 法人湘南DVサポートセンター理事長）

神奈川県生まれ。1980年より、ライフセービングなどをはじめとする地域ボランティア活動を主宰。全国の小学校の生徒などに対し救急救命プログラムを提供するなかで子どもの虐待やDV問題と出会い、DV支援機関湘南DVサポートセンターを設立。子どもの心のケアの手法を求めアメリカに渡りミネソタ州の非営利団体DAP（ドメスティック・アブ्यूズ・プロジェクト）で、暴力防止プログラムを学び、帰国後、このプログラムを取り入れた支援に取り組むと同時にプログラムの普及を展開。相談者のケアやカウンセリングのかたわら、小中高校でいじめ防止プログラムを提供、関係機関などで勉強会や講演活動を展開するほか、プログラムを運用できるファシリテーターの育成も手がける。公的機関などにも積極的な呼びかけを行い、DVやいじめなどさまざまな暴力の根絶をめざし、普及・啓発活動を行っている



瀧田信之さん

【報告・ディスカッション】

- ① NPOフードバンク山梨 事務局長 齋藤加代子さん
 - ② 母子寡婦支援サンフラワー代表 川野久美子さん
 - ③ 女性の人権サポートくろーばー 代表 森川茂子さん
- コーディネーター 山梨県女性相談所 所長 三井文子さん
 アドバイザー NPO 法人湘南DVサポートセンター理事長 瀧田信之さん



2016.12月2日（金）13:30～16:00

山梨県立男女共同参画推進センター・ぴゅあ総合 大研修室

■対象：県母子父子自立支援員、市町村家庭児童相談員・保健師等行政関係者、民間支援団体

■定員：60名（要事前申込）

主催・お問い合わせ 山梨県立男女共同参画推進センター

ぴゅあ総合

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077
sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp



「ぴゅあ総合フェイスブック」で検索！
「いいね」すると最新情報が受け取れます。



6か月～就学前
3日前までに
ご予約ください。

